

# 酒米新品種「Hyogo Sake 85」の育成

## 【背景・目的・成果】

- ◆現在、県北部で栽培されている酒米品種「五百万石」や「兵庫北錦」は、登熟期間の高温化で白未熟粒の発生が多く、北部で発生が多いもち病にも弱い。このため、地球温暖化の適応策としても、高温登熟耐性ともち病抵抗性の強い良質の酒米品種の育成を目指しました。
- ◆この新品種を使用した日本酒の輸出を目指し、香港、EUなどに酒どころ“兵庫”をアピールするため、酒米としては全国で初めて、品種名をローマ字表記としました。

## 【育成系譜と品種特性】

- ・交配：1986年「水原258号」×「山田錦」 ※水原258号：韓国で育成された超多収品種
- ・品種登録出願：2017年11月22日



上から「Hyogo Sake 85」 株、立毛：左から「Hyogo Sake 85」「五百万石」「兵庫北錦」  
「五百万石」「兵庫北錦」

## 表：「Hyogo Sake 85」の特徴

品種	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (m <sup>-2</sup> )	いもち病 抵抗性(0-10)	倒伏程度 (0-10)	収量 (kg/a)	千粒重 (g)	心白発現 率(%)	心白大(大中) の割合(%)	玄米タンパク 質含有率(%)
Hyogo Sake 85	7/27	8/28	92	19.1	347	0.6	2.9	52.7	27.4	81.6	49% (64%)	7.5
五百万石	7/24	8/31	93	22.5	347	8.6	4.7	50.8	25.6	69.6	34% (51%)	7.7
兵庫北錦	7/29	8/31	90	20.7	308	4.9	1.8	53.9	29.1	71.4	64% (71%)	7.7
参) 山田錦	8/25	10/3	112	20.4	352	8.8	6.7	42.5	27.7	74.8	32% (50%)	7.4

注) 「Hyogo Sake 85」「五百万石」「兵庫北錦」の移植期は5/17、「山田錦」は6/5とした。倒伏、いもち病抵抗性は0(無)~10(甚)で示す。

心白の面積が米全体の2.5%以上を占める場合を「心白大」、6~2.5%を占める場合を「心白中」という。

- ◆成熟期は「五百万石」や「兵庫北錦」よりも3日早い極早生種です。
- ◆稈長は「五百万石」「兵庫北錦」とほぼ同等、倒伏については「五百万石」より強いです。
- ◆いもち病抵抗性は「五百万石」や「兵庫北錦」より強いです。
- ◆酒造適性は心白が大きく、溶けが良く、粕が少ない。香りが高いです。

## 【「Hyogo Sake 85」を使用した海外輸出向けの新製品】

- ◆精米歩合60~65%の純米酒~純米吟醸酒
- ◆杜氏や製造業者からは「程よい香りがあり、すっきりとして、のどごしが良い」との高い評価を得ています。



「Hyogo Sake No. 85」 山名酒造株式会社



「兵庫酒八十五」 此の友酒造株式会社



「Hyogo Sake 85」 香住鶴株式会社

【技術の活用】「Hyogo Sake 85」は次世代酒米研究プロジェクトの中で、海外輸出向けの醸造製品の原料米品種として、高品質・安定生産技術の開発を進めています。2017年度から新温泉町、丹波市、養父市で試作を行っています。醸造製品は2018年8月に、香港の複合的PR店舗(Sake Central)に出品し、PRとともに海外での製品評価を行い、今後の酒造りに活かします。



兵庫県  
Hyogo Prefecture

兵庫県立農林水産技術総合センター  
農業技術センター

